

令和6年度当初予算 概要

令和6年2月
上下水道局

1 令和6年度 予算規模

(単位:百万円)

	令和6年度 当初予算案(A)	令和5年度 当初予算(B)	増減 (A) - (B)
上水道事業会計	37,352	35,722	1,630
工業用水道 事業会計	4,587	3,866	721
下水道事業会計	52,622	52,243	379
合計	94,561	91,831	2,730

「稼げるまち」の実現 ～人も企業も潜在力を開花できるまち～



新規

下水道資源の有効活用

【30百万円】

下水道資源の肥料利用

★スラグを用いたリン回収技術など



◆リン回収技術の特長

- 簡素なリン回収プロセス
- 鉄鋼・下水からリンを同時回収

↓
高付加価値

※日鉄エンジニアリング(株)と共同

- ・肥料化のコスト
- ・重金属などの安全性
- ・農業者、消費者の理解
- ・地域内需要・販路

- ・肥料登録、試験栽培
- ・品質、安全性の検証
- ・農業関係者との信頼関係
- ・配合肥料として販路展開

北九州発の
SDGs肥料

下水道処理水の活用の検討

★企業ニーズ調査、施設整備の検討など

浄化センターから放流している下水道処理水を有効活用するため、企業ニーズの調査や、施設整備の検討などを行う。

浄化センター

下水道
処理水

市内企業

雑用水

「安らぐまち」の実現 ～誰もがつながるアットホームなまち～

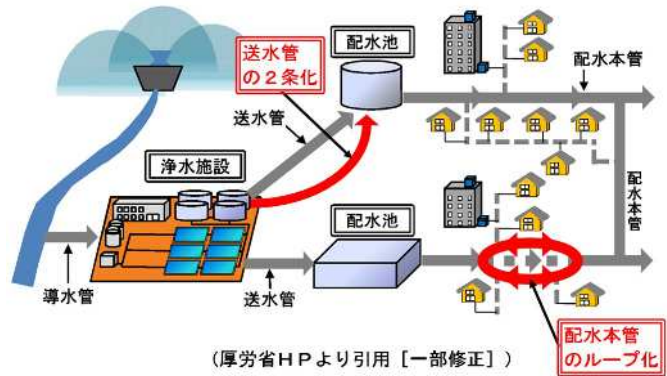


上下水道の地震等対策推進事業

【8,374百万円】

バックアップ機能の強化
(206,290千円)

- ★八重洲分岐～城野分岐送水管の2条化
- ★井手浦系配水本管のループ化



水道管路の耐震化
(5,529,200千円)

浄水場・配水池の耐震化
(295,290千円)

- ★更新に合わせた耐震化



浄化センター・ポンプ場の耐震化
(250,000千円)

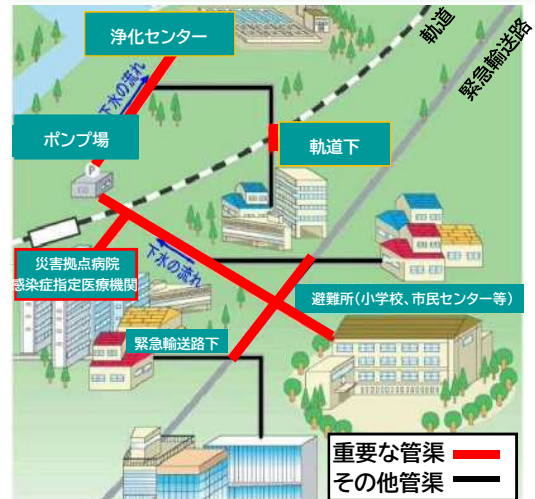


補強前 (耐震診断により補強箇所を選定)



補強後 (中空部に耐震壁を設置)

下水道管渠の耐震化
(2,093,000千円)



重要な管渠の耐震化

既設管内部を
全面補強



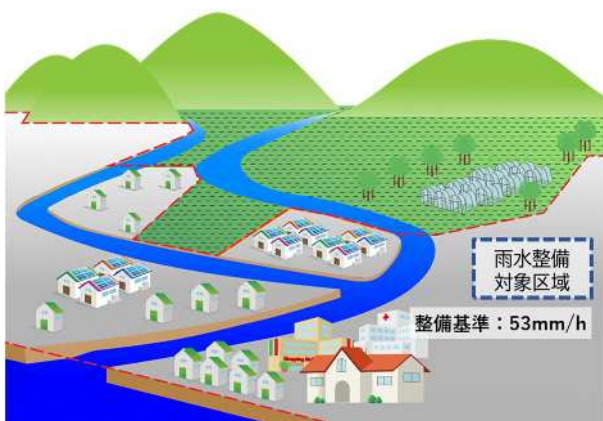
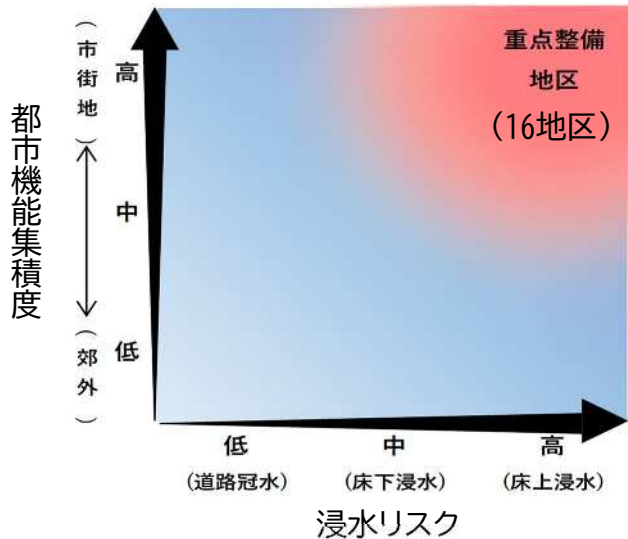
浸水対策事業の推進

【2,828百万円】



豪雨対策の拡充・強化
(2,827,986千円)

局地化、集中化する豪雨から市民の生活を守るため、**重点整備地区(16地区)**を中心に、効果的に施設整備を進める。



雨水管の整備



調整池の整備

3 主な事業

「稼げるまち」の実現 ～人も企業も潜在力を開花できるまち～

●稼げる「基盤」をつくる

- ・響灘地区等の需要増に伴う工業用水道施設整備 1,038百万円

響灘地区における工業用水の需要が増加するため、令和7年度供用開始を目指し、令和4～6年度で本城浄水場内の施設整備及び配水管φ900の整備を約1,000m実施

- 新規** ・行橋市・苅田町への水道用水供給事業の拡大等による広域連携の推進 204百万円

行橋市・苅田町への水道用水供給の拡大及び古賀市・宗像地区事務組合への供給量の増量により、各事業者の経営基盤を強化

●稼げる「産業」をつくる

- ・インフラシステムの輸出による海外ビジネス展開 173百万円

アジアを中心とした国や地域における国際技術協力をビジネスの視点を取り入れるため、国際技術協力を通じた相手国との信頼関係を維持し、官民が連携した海外水ビジネスを展開

- 新規** ・下水道資源の有効活用 30百万円

下水汚泥の肥料化や下水道処理水の活用の検討など、下水道資源の有効活用の取組を実施

「安らぐまち」の実現 ～誰もがつながるアットホームなまち～

●生活基盤の「安心」を支える

- ・上下水道の地震等対策推進事業 8,374百万円

地震等の災害被害を最小限にし、早期に機能回復が図れる災害に強いライフラインを構築するため、老朽化した施設の耐震改修を実施

- ・浸水対策事業の推進 2,828百万円

近年の集中的な豪雨に起因する浸水被害を最小化し、浸水に対する安全度の向上を図るため、雨水管等の整備を実施

【問合せ先（全体に関すること）】

上下水道局 経営企画課

丸谷（課長）、佐藤（係長）

TEL 093-582-3137